

2020年2月19日

鹿児島大学病院 呼吸器内科 で
気管支喘息の治療を受けた患者さんへ
(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院 呼吸器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

気管支喘息におけるバイオマーカーの発現についての研究（多施設共同研究）

【研究機関】

鹿児島大学病院 呼吸器・ストレスケアセンター 呼吸器内科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 呼吸器・ストレスケアセンター 呼吸器内科
助教 町田 健太郎

【研究の目的】

近年気管支喘息は吸入ステロイドを中心とした吸入薬の普及により、多くの患者さんが症状を安定させることができるようになってきています。しかし中には現在の治療が効きにくく、なかなか症状が良くならない患者さんもいらっしゃいます。これには気管支喘息が起こる過程で作られる様々な物質が影響を及ぼしていることが徐々にわかってきました。しかし、まだまだ未解明な部分が多いのが現状です。一方、アレルギー性鼻炎は気管支喘息との合併が

多く、症状の増悪にも関連が深いため、気管支喘息の難治化の一因となっています。

この研究では治療が効きにくい気管支喘息と診断された患者さんに特徴的な物質を見つけることを目的としています。その特徴的な物質を指標とすることによって、治療が効きにくいタイプの患者さんをいち早く探し出し、より嚴重な治療と観察が出来るようになる可能性があると考えています。また、その物質の役割を解明していくことによって、気管支喘息の新しい治療薬を開発する手がかりを見つけることができる可能性があります。

【研究の方法】

診察の時に採取された血液や尿・喀痰、気管支鏡検査や手術のために採取された組織・細胞検体、気管支洗浄液の余ったものを使用して各種サイトカインや脂質を測定します。

【対象となる患者さん】

2005年4月1日から2026年12月31日までに、鹿児島大学病院呼吸器内科で気管支喘息またはアレルギー性鼻炎と診断された16歳以上の患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

性別やその当時の年齢、身長、体重、喫煙状況、使用薬剤、採血・尿・喀痰データや肺機能検査、胸部レントゲンやCTの結果を利用します。

個人情報管理者 呼吸器内科 助教 町田健太郎

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しま

せん。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

鹿児島大学病院 呼吸器・ストレスケアセンター 呼吸器内科

助教 町田 健太郎

電話 099-275-6481 FAX 099-275-6482